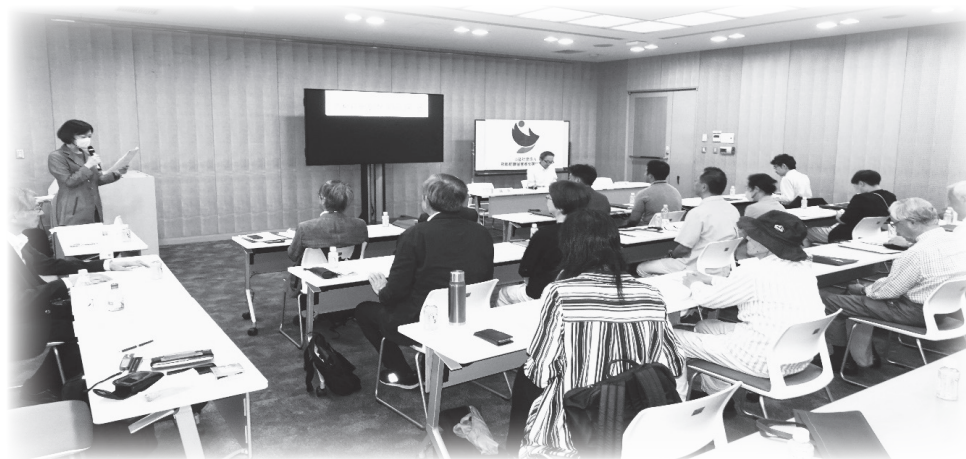


令和6年度 定時社員総会を開催しました。

6月15日（土）14：00からキャンパスプラザ京都にて、令和6年度定時社員総会を開催しました。令和5年度事業報告と決算、2,170万円の基本財産の取り崩し、令和6年度および今後5年間の中期計画、新役員体制などの審議・報告を行いました。（審議事項はすべて承認されました）
また第2部では、功労者表彰と感謝状贈呈を行いました。



1. 令和5年度事業報告

令和5年度 特記事業

1. 京都府犯罪被害者等支援条例に係る事業の委託

令和5年4月1日「京都府犯罪被害者等支援条例」が制定され、京都府、市町村、京都府警察、京都犯罪被害者支援センターが一体となり、被害直後から中長期にわたって支援を講じる新たな支援体制の構築（支援調整会議の設置）、コーディネーターする社会福祉士の配置など当センターが同条例に係る事業を受託しました。

2. 「被害者等の心情等の聴取・伝達制度」に基づく連携協定

「刑の執行段階等における被害者等の心情等の聴取・伝達制度」の施行に伴い、令和5年10月27日に京都刑務所、京都拘置所、京都医療少年院の3施設と連携協力に関する協定を締結しました。

3. 京都アニメーション放火殺人事件

京都地方裁判所における公判が令和5年9月5日より令和6年1月25日まで計23回行われました。そこに証人または傍聴として多くの被害者ご本人とご家族、ご遺族が参加されました。センターから毎回5名の職員・ボランティアを派遣し、支援を行ないました。

4. センター基盤整備

(1) 体制変更

専務理事の新設、従来の事務局を支援局と事務局の2局体制に再編、職員の増員等により被害者支援活動の充実を図りました。

(2) オフィス移転

応接面談室や職員の執務机も確保できない等、日常活動に支障をきたしていたため、同一ビル内に1.6倍の面積を持つスペースに移転し、令和6年2月5日より新オフィスで事業を開始しました。



2. 令和5年度支援活動実績

1. 相談事業

(1) 電話相談

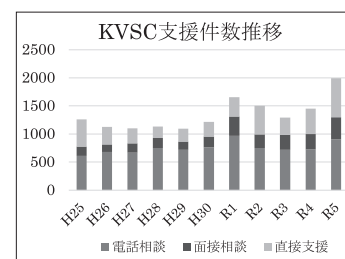
開室日	京都 : 238日 月曜日～金曜日 13:00～18:00 ほくぶ相談室: 93日 月曜日・木曜日 12:00～16:00
件数	合計902件(うち警察からの情報提供分294件) 電話801件(前年比110件増) 電子メール・手紙101件(前年比65件増) 京都市犯罪被害者総合相談窓口 364件(前年比17件増) 犯罪被害者サポートダイヤル 409件(前年比88件増) 犯罪被害者サポートダイヤルほくぶ相談室 28件(前年比5件増)

(2) 面接相談

件数	合計399件(前年比125件増) (うち警察からの情報提供分232件) 京都 : 392件(前年比123件増) (うち警察からの情報提供分226件) ほくぶ相談室: 7件(前年比2件増) (うち警察からの情報提供分6件)
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 直接的支援事業

件数	合計695件(前年比247件増)(うち警察からの情報提供分461件) 京都 : 674件(前年比230件増) (うち警察からの情報提供分441件) ほくぶ相談室: 21件(前年比17件増) (うち警察からの情報提供分20件)
支援	・付添(傍聴、法律相談、行政窓口、病院等) ・代理傍聴、自宅訪問等 ・住宅に関する申請手続 ・生活資金の給付申請手続 ・精神医療費用助成申請など



* 電話相談・面接相談・直接的支援件数内訳

下段(): 前年度件数

犯罪種別	①殺人 (傷害致死含む)	②強盗 (致死含む)	③強制性交等	④強制わいせつ	⑤その他の性暴力	⑥暴行・傷害等	⑦危険運転致死傷	⑧交通事故	⑨財産的被害	⑩DV	⑪ストーカー	⑫虐待	⑬その他	合計
電話相談 ※メール含む	170 (124)	16 (0)	94 (83)	67 (64)	25 (36)	252 (178)	2 (7)	22 (19)	74 (47)	27 (13)	28 (7)	26 (44)	99 (105)	902 (727)
面接相談	78 (33)	17 (0)	39 (48)	53 (51)	8 (23)	94 (33)	1 (6)	10 (20)	32 (8)	44 (21)	17 (5)	0 (6)	6 (20)	399 (274)
直接的支援	232 (128)	28 (0)	107 (68)	116 (53)	21 (9)	100 (94)	9 (31)	19 (33)	5 (11)	17 (2)	37 (2)	3 (1)	1 (16)	695 (448)
合計	480 (285)	61 (0)	240 (199)	236 (168)	54 (68)	446 (305)	12 (44)	51 (72)	111 (66)	88 (36)	82 (14)	29 (51)	106 (141)	1,996 (1,449)

3. 広報啓発事業

会報紙の発行、犯罪被害者週間におけるパネル展示、街頭活動、宇治市・京田辺市における公開講座、講師派遣、大学との連携、第24回犯罪被害者支援京都フォーラムの開催など、多岐にわたり広報・啓発活動を展開。

4. 調査研究及び研修事業

- (1) 新規ボランティアの募集及び事前研修会 26期生として1月～2月の間に6回事前研修を実施
- (2) 月例研修会 1期生～25期生及び北部1期生～北部8期生を対象に10回の月例研修を実施
- (3) 期別研修会 25期生及び北部8期生を対象に5回の研修を実施
- (4) 京都府犯罪被害者等施策市町村担当者研修 7月27日と2月14日の2回開催

5. 受託事業

(1) 京都市犯罪被害者等総合相談窓口設置に係る事業

- ①京都市犯罪被害者総合相談窓口の設置
- ②広報・犯罪被害者週間における啓発活動、生命のメッセージ展、広報啓発物作成、フォーラム開催

(2) 京都府犯罪被害者等支援条例に係る事業

- ①支援調整会議運営 開催回数: 8回 支援調整会議決定に基づく支援件数: 169件
- ②生活再建支援事業及び法的援助助成事業



3. 令和6年度事業計画

今年度から、組織的運営への転換を目指し、5か年の中期目標を設定した上で、単年度ごとの実行計画を策定する方式に変更しました。

また前年度から「センターの変革期」として質的転換に向けた3か年計画を別途立て、その2年目としての短期計画を合わせて立案実行しています。

中期目標と2024年度活動計画 ～KVSCの質的転換へ向けて～

中期目標 1. KVSCの改革 (2年計画)
～永続的成長ができるよう「組織的運営」への質的転換を図る～

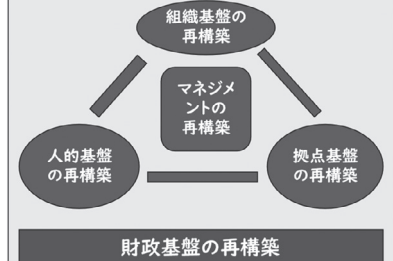
重点課題：5つのインフラの再構築

中期目標 2. 事業の成長 (5か年計画)

犯罪被害者支援活動が社会に広まり、KVSCの存在も市民に広く認知され、その結果、支援活動が質量ともに拡充できている。

中期目標 1. KVSCの改革
(2023年度～2025年度)
～永続的成長ができるよう「組織的運営」への質的転換を図る～

<5つのインフラを再構築する>



中期目標2. 事業の成長 2024年度～2028年度(5年間)

2028年度のあるべき姿

犯罪被害者支援活動が社会に広まり、KVSCの存在も市民に広く認知され、その結果、支援活動が質量ともに拡充できている。

課題

犯罪被害者支援活動およびKVSCの社会的認知を高め、一人で悩んでいる人を一人でも多く支援につなげること

- ① 市町村との連携を強化し、効果的な広報活動を実施
- ② 学校等への計画的・継続的の出前講座や行政と連携した公開講座による啓蒙活動の強化
- ③ 寄附型自販機の拡大

支援活動を推進する相談員の増強を図ること

- ① 支援局員の増員と早期戦力化
- ② ボランティアの育成(相談員の増加と活躍の場の拡大)

犯罪被害者等の様々な要望に寄り添った活動に多様化を図ること。

- ① 中長期支援策の一つとして自助グループの立ち上げ・運営
- ② 相談窓口の多様化(メール・LINE・TV電話など)により相談すること自体の壁を低くする。

1.<広報活動・・・対外活動の拡大1>

市町村と連携し、通年・多様な広報活動が行われている。

2.<啓発活動・・・対外活動の拡大2>

プログラムとして提供 高校・大学教育(教養)、行政(市民講座など)
人権啓発などと組んで 企業/病院/矯正施設など

3.<ボランティアの育成・・・研修・実習の充実>

ボランティア相談員が増員され、直接支援を主担当として行われている。

4.<ボランティアのしきみ・・・機動的/相互信頼の担保>

突発的・継続的な支援を主担当として可能となる連携や報道のしきみが出来上がっている。

5.<支援活動の充実・・・長期支援の試み>

自助グループの立ち上げ/運営が開始できている。

6.<支援活動の充実・・・相談方法の多様化>

電話からメールやビデオ通話、チャットなどへ相談方法が拡大できている

7.<支援策の提言>

相談支援活動から浮かび上がった課題解決を関係部門(ネットワーク/行政など)へ提言している。

8.<パートナーの拡充>

広報啓発/支援活動・営業活動などを他組織と協同することで活動の効果的拡大ができている。

9.<支援活動の分析>

犯罪被害者に寄り添ったより良い活動ができるよう、活動状況の把握・分析を進め、課題形成から改善ができるようになっている。

10.<カウンターパートナーとの連携強化>

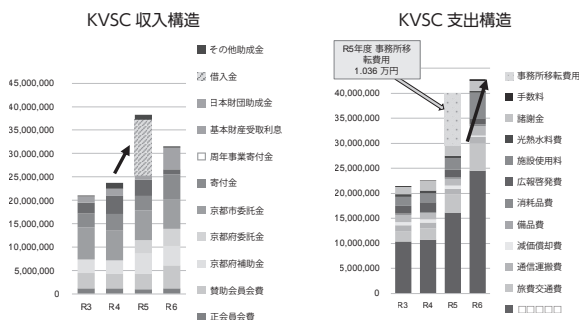
京都府・京都府警・京都市をはじめとするパートナーと、支援活動強化に関する協議を活発に行っている。支援調整会議が軌道に乗り、効果が発揮できている。

基本財産の取崩しを承認

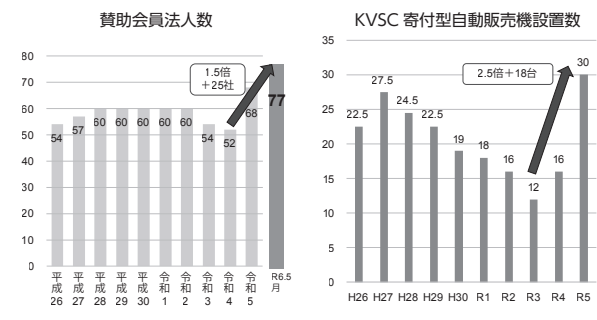
基本財産から、①オフィス移転・リフォーム費用として1,200万円。②令和6年度予算の赤字補填として970万円。⇒合計2,170万円を取崩して活用することが承認されました。

今年度は、970万円の赤字となります。前年度、当センターは大きな転換期を迎えました。社会からの要請に応え、永続的な活動を可能とする組織基盤等の強化を図りました。そのため<職員増員・処遇改善・ボランティア活動費の新設・新オフィスへの移転・活動増大による交通費増>などにより支出が大幅に増加。一方S社の社債売却により運用利益が大幅減となります。それらを補うため賛助会員や寄附型自動販売機の増加により増収を図る予定ですが、差し引き970万円の赤字が避けられない見込みです。

当センター 収入・支出構造の推移



収入増の取り組み 賛助法人会員・寄附型自動販売機推移





令和6年度 役員の新体制が決定しました

任期：令和6年6月15日から令和8年度定時社員総会の終結の時まで

◆新役員体制

(敬称略・五十音順)

役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
理事長	山下 俊幸	京都府立洛南病院名誉院長	理事	中瀬 真弓	社会福祉法人京都いのちの電話研修委員
副理事長	平井 紀夫	公益社団法人全国被害者支援ネットワーク特別顧問		富名腰由美子	公益社団法人京都犯罪被害者支援センター支援局長
	川本 哲郎	元同志社大学教授		山本 陽子	公益社団法人葵橋ファミリー・クリニック首席カウンセラー
新任専務理事	中道 教顕	元公益社団法人京都犯罪被害者支援センター参事		吉田 誠司	弁護士
理事	阿部千寿子	京都先端科学大学経済経営学部准教授		和田 千恵	公益財団法人京都世界人権問題研究センター外部評価委員
	武部 吉輝	キャリアコンサルタント、産業カウンセラー	監事	十河 太郎	同志社大学大学院司法研究科教授
	藤 憲之	一般社団法人京都社会福祉士会副会長兼事務局長	新任監事	百合野正博	同志社大学名誉教授
	中 隆志	弁護士			

◆ご退任の役員の方

当センター開設当時より長年にわたり監事を務めていただいた瀧田輝己さんが退任されました。当センターが設立当初のボランティア団体から公益社団法人となり、犯罪被害支援活動の柱として社会から認知されるまでにいたった25年に及ぶ歴史に立ち合い、力強くご指導・ご支援を賜りました。おかげをもちまして、昨年度からは京都府からも支援調整会議をはじめとする重大な事業の業務委託を受けるまでになりました。改めまして深く感謝申し上げます。

理事として精力的に当センターのご指導をさせていただいていた直野信之様が、昨年12月9日にご逝去されました。

京都新聞在職中の2006年に当センターの理事に就任され、京都新聞の編集局長や京都新聞社会福祉事業団の常務理事という要職に就かれている間も、2019年からは運営委員長も務めていただくなど、当センターの発展に貢献していただきました。改めて感謝申し上げ、心よりご冥福をお祈りいたします。

◆新任役員紹介（略歴）

専務理事 中道教顕氏

1982年同志社大学卒業後、オムロン(株)に入社し人事勤労部長、労政部長などを務めた後、オムロンアジア本社（シンガポール）社長、オムロンパーソネル（株）社長、オムロン中国本社（中華人民共和国）総経理（社長）を務めた後、2023年7月から参事として当センターに入職し現在に至る。

監事 百合野正博氏

1976年同志社大学大学院修士課程修了の後、2000年より同志社大学商学部教授として教鞭をとるかたわら、2017年から2020年まで学校法人同志社の評議員会議長を務められ、2020年には学校法人同志社の監事に就任。この間に著した「会計監査本質論」は2017年度日本監査研究学会賞を受賞。

◆センター運営体制

新運営体制は次の通りです。（敬称略）

役職	理事長	副理事長	副理事長	専務理事	事務局長	支援局長
旧	山下 俊幸	平井 紀夫	川本 哲郎	(兼) 川本 哲郎	(兼) 川本 哲郎	富名腰由美子
新	山下 俊幸	平井 紀夫	川本 哲郎	中道 教顕	(兼) 中道教顕	富名腰由美子



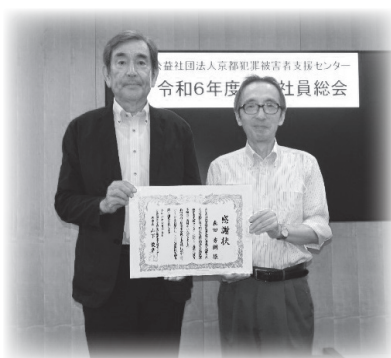
令和6年度功労者表彰 感謝状



令和6年度 功労者表彰 富名腰由美子様

富名腰様は、平成10年の当センターが設立以来、事務局長を経て現在理事・支援局長を務められています。平成15年10月に被害者相談員、直接支援員の認定を受けて以来、これまでに3,000時間を超える相談にあたってこられました。

当センターの運営および支援活動の中心として多年にわたり尽力されてこられました功績に敬意を表し、山下理事長から犯罪被害者支援功労者表彰がされました。



令和6年度 感謝状贈呈 森田秀朗様

感謝状は、毎年多額のご寄附をいただいた個人様、団体様にお贈りしています。今年度は、森田秀朗様に社員総会にて山下理事長より感謝状が贈呈されました。

森田様は、平成12年度に正会員となられ、平成30年の当センター20周年以来、毎年多額のご寄附をいただきご支援いただいております。誠にありがとうございます。

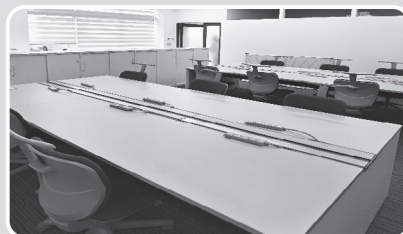
新オフィスへ移転しました

支援活動の拡大・増加に伴い、オフィスが古く狭いことが長年の課題でしたが、同一ビル(交通安全会館)内の2階から1階に移転し、1.6倍の床面積を確保することができました。

これに伴い、

- ① 応接面談室と会議室の設置により2組の同時面談が可能に
- ② 職員用机をフリーアドレス方式として12名の執務が可能に
- ③ ノートパソコンをWi-fiで使用、毎日終業時には机の上には何も置かない5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)を実現
- ④ 鍵付き戸棚の配置と5Sの徹底によりファイリングを推進、個人情報管理の徹底
- ⑤ OAフロア化により車椅子の方も入室可能なバリアフリー化などを実現しました。

1期工事を1月末完成 2月3日に移転し新オフィスで業務開始、6月10日に2期工事を実施、移転・リフォーム事業が完了しました。



フリーアドレス方式の机 (12名分)



応接面談室



面談にも使用可能な会議室

今回の移転・リフォーム事業には、京遊連社会福祉基金様、日本財団様から各100万円をはじめとして京都新聞社会福祉事業団様、京都府共同募金会様からも多額の助成金をいただきました。ありがとうございました。



温かいご支援ありがとうございます

..... 令和6年3月～5月〈法人・団体〉新賛助会員のご紹介

(順不同・敬称略)

●新法人賛助会員の皆様です。

- ・笠置町
- ・一般社団法人京都府自動車整備振興会
- ・京都駅ビル開発株式会社
- ・株式会社ジェイアール西日本伊勢丹
- ・弁護士法人中村利雄法律事務所
- ・与謝野町
- ・一般社団法人京都府病院協会
- ・嵯峨野観光鉄道株式会社
- ・宝ホールディングス株式会社
- ・一般社団法人京都私立病院協会
- ・オムロンエクスパートリンク株式会社
- ・近建ビル管理株式会社
- ・株式会社万代

●新団体賛助会員の皆様です。

- ・京都精神保健福祉士協会
- ・山科区保護司会
- ・相楽保護区保護司会
- ・京都府北警察署 SORA 北会

..... 令和6年2月～5月寄附型自動販売機 新規設置法人・団体のご紹介

●被害者支援自動販売機

- ・オムロン株式会社
- ・カラオケ WOOPY
- ・月桂冠株式会社
- ・宝酒造株式会社
- ・株式会社日進製作所
- ・日新電機株式会社

●交通安全ラッピング自動販売機

- ・八幡市公園施設事業団
- ・京都向日町競輪場
- ・西京運輸株式会社
- (きんめい近隣公園)

..... 令和6年2月～5月に会費及び寄附を頂戴した方々です

(順不同・敬称略)

【正会員】

- | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 青木苗子 | 阿部千寿子 | 安齋航太 | 猪飼勝之 | 幾世直美 | 五十川万紀 | 五十川正己 | 一圓裕二 |
| 井爪玉幸 | 伊藤雄三郎 | 井上義秀 | 岩見眞成 | 上田栄子 | 上田博之 | 牛丸公文 | 内山正元 |
| 大江泰弘 | 大川原康夫 | 大谷 元 | 大谷浩美 | 大谷 實 | 岡 和宏 | 緒方あゆみ | 岡本昌子 |
| 荻原卓司 | 奥田聡子 | 奥村克彦 | 奥村正雄 | 小谷英與 | 掛川典子 | 笠間士郎 | 桂 充弘 |
| 桂川田鶴子 | 加藤明久 | 金山晴美 | 金田 弘 | 唐津 博 | 川崎友巳 | 川本哲郎 | 岸田佐輝子 |
| 久貝眞知子 | 五井武男 | 小槻浩史 | 小西博通 | 小林数美 | 酒井豊彦 | 阪口純也 | 佐藤哲史 |
| 佐藤浩輔 | 澤田久子 | 志賀和幸 | 四方 奨 | 下田一次 | 下田美津恵 | 白岩 親 | 陣川公平 |
| 新谷美重子 | 菅佐和子 | 菅原慶子 | 十河太郎 | 高田治男 | 高田弘道 | 高森國夫 | 瀧口不三子 |
| 瀧田輝己 | 匠 輝雄 | 武るり子 | 武部吉輝 | 田中彰寿 | 田中國雄 | 田中 伸 | 谷 正徳 |
| 田原五郎 | 藤 憲之 | 辻 健 | 寺島 晃 | 富田哲也 | 富田光代 | 内藤みちよ | 中 隆志 |
| 仲川 徹 | 中島 茂 | 中島 操 | 中瀬真弓 | 永田憲史 | 中田政義 | 中田良成 | 中谷節子 |
| 中道教顕 | 中村勝雄 | 中村千晶 | 中村禮子 | 西尾恵治 | 西野 匠 | 西村真由美 | 野尻純孝 |
| 長谷川彰 | 波多野達哉 | 波多野元子 | 服部英俊 | 林 茂男 | 林山満彦 | 比嘉一美 | 姫野敦秀 |
| 平井きよ子 | 平井紀夫 | 平山木綿子 | 福田祥司 | 福田幸男 | 藤岡一郎 | 藤村和正 | 藤本 馨 |
| 藤本章子 | 藤本晃央 | 富名腰隆 | 富名腰由美子 | 北條正崇 | 細川 治 | 堀田英克 | 堀池建次 |
| 本城武子 | 前田秋丸 | 松井省吾 | 松井道宣 | 松下のり子 | 松谷正樹 | 松原久利 | 松村豊大 |
| 松本敏昭 | 松山美智代 | 松吉雅弘 | 水嶋浩司 | 南出 實 | 宮崎純一 | 向山雅子 | 村上農一郎 |
| 村田純江 | 森川朋子 | 森田秀朗 | 森本 晋 | 森本弘美 | 山極壽一 | 山崎加代子 | 山崎聖子 |



山崎正三	山下清隆	山下俊幸	山下庸子	山下僚太	山根弘行	山本文敏	山本 真
山本陽子	湯川真次	横井梅里	吉岡宏典	吉田誠司	吉本直樹	和田千恵	匿名 11 名

【個人賛助会員】

青山恵美子	赤井英俊	秋山敏章	明田治男	明致親吾	味見 豊	足立 弘	新井喜範
家入紀幸	泉 博基	一瀬佳史	井手一文	伊藤奈見	伊藤雅寿	伊藤頼彦	犬井勇司
今津寛之	上田千晴	上仲泰子	上野善雄	植村千秋	潮田惣之進	臼井千恵美	内海英明
大久保静雄	大重尚忠	大志万耕次	大槻哲彦	大西 誠	大野秀一	大橋久美	大橋秀之
大谷 太	大谷史代	岡島安孝	岡本 茂	小川厚子	奥田英雄	奥田みよ子	小田武治
小野利幸	小野宏樹	小野由紀	小野慶秋	小長谷新二	香川 馨	笠井 翠	片山 斎
片山嘉章	桂 良彦	兼重雅好	河毛清範	川村俊哉	菊川 充	北岡広行	北川啓子
木村正勝	久米弘子	黒津忠史	桑村信慶	小嶋 操	小滝以和生	小林建太	小山雅子
小山義徳	佐伯賢治	佐古田孝典	佐々木幹夫	佐藤純一	佐藤正志	佐藤昌昭	椎原奈美江
塩見貢司	志子喜武	島本英樹	志茂洋文	下田勝幸	正田 実	正徳孝夫	杉本 諒
鈴木克己	砂畑成包	相馬博美	高井直美	高階奈津美	高田光郎	田口康久	竹市雅子
竹下金男	竹村俊康	田中弘二	田中勇伍	谷口聖子	玉西ゆかり	塚原 稔	辻 香織
辻本尚史	土橋愛之助	堤勇一郎	寺井 正	寺田信夫	東郷一広	得田史朗	土佐卓司
富田恭二	友成修治	長江 豊	長尾 眞	長岡弘朗	中川研人	中西達哉	中野雄介
長瀬誠一	中俣三彦	永見まり子	中村久美子	中村修三	中村崇宏	鍋島香織	鍋島フジ子
南部久美	西村元希	野一色康夫	野口幸夫	橋口紀子	橋本達雄	畑 賢治	濱田 毅
林 尚義	原田一毅	原田哲夫	平田 徹	平田道和	平原正樹	藤岡眞司	藤田裕之
藤田美香	藤本武史	古林敦子	星野勝己	堀 英明	前田保則	正木 守	眞下 明
松田節憲	松本明弘	松本圭子	松本 央	丸岡由美子	三浦芳敬	三科昭夫	水野 誠
三宅紀一	向山尚克	村田泰穂	室 義信	毛利真弓	森岡奈津美	八木達雄	山極良太
山口康智	山崎享加	山下季雄	山代晃義	山田 晃	山田敬二	山田健一	山田文典
山本育生	吉岡正和	吉崎幸二	吉田治美	吉本行廣	和氣浩行	わたなべ邦子	匿名 22 名

寄 付 者

【個 人】 10 名

【団 体】 京都府南警察署

法人・団体の賛助会員として当センターを経済的に支援いただいている皆様

(順不同・敬称略)

【法人賛助会員】

企 業

株式会社鳥津製作所
 株式会社GSユアサ
 月桂冠株式会社
 日本電気化学株式会社
 オムロン株式会社
 京セラ株式会社
 ニチコン株式会社
 株式会社村田製作所
 彌榮自動車株式会社
 株式会社堀場製作所
 株式会社マイ
 日本新薬株式会社
 株式会社ピー・エス・アイ・コーポレーション
 株式会社松原興産
 ワタキューセイモア株式会社
 株式会社ティ・プラス
 吉村建設工業株式会社
 株式会社ミラノ工務店
 若林設備工業株式会社
 京滋アロー株式会社
 株式会社類設計室
 樋口鉱泉株式会社
 五洋パッケージ株式会社
 山代印刷株式会社
 株式会社片岡製作所
 村田機械株式会社

企 業

オーシャン貿易株式会社
 三洋化成工業株式会社
 株式会社日進製作所
 株式会社京都環境保全公社
 ひとひらく株式会社
 株式会社ライオン事務機
 ヤチヨコシステム株式会社
 株式会社ユタカ
 株式会社ITP
 宝ホールディングス株式会社
 日新電機株式会社
 オムロンエクスパートリンク株式会社
 京都駅ビル開発株式会社
 近建ビル管理株式会社
 株式会社万代

行 政

京都市市長会
 京都府町村会
 亀岡市
 八幡市
 福知山市
 木津川市
 南丹市
 精華町
 舞鶴市
 綾部市
 長岡京市
 宇治市
 京田辺市
 笠置町
 与謝野町

観光・サービス業

都ホテル 京都八条
 ウェスティン都ホテル京都
 嵯峨野観光鉄道株式会社
 株式会社ジェイアール西日本伊勢丹

社団法人

一般社団法人京都府トラック協会
 一般社団法人京都府バス協会
 一般社団法人京都自動車整備振興会
 京都司法書士会

金融機関

株式会社京都銀行
 京都中央信用金庫
 京都信用金庫
 大和証券株式会社 京都支店

報 道

株式会社京都新聞ホールディングス

学校法人

学校法人京都女子学園
 学校法人京都精華大学

宗教法人

石清水八幡宮
 本門佛立宗 宗務本庁

医療関係

一般社団法人京都府医師会
 一般社団法人京都府臨床心理士会
 医療法人社団洛和会音羽病院
 一般社団法人京都府病院協会
 一般社団法人京都私立病院協会

その他

弁護士法人中村利雄法律事務所



【団体賛助会員】

警察関係	警察関係	社会福祉関係	その他
京都府警察本部捜査第一課	山科防犯協会	春日住民福祉協議会	京都府男女共同参画センター
京都府警察本部交通機動隊	下鴨防犯協会	京田辺市社会福祉協議会	上京東部医師会
京都府警察本部 交通企画課親交会	京丹後防犯協会	社会福祉法人八幡市社会福祉協議会	一社 京都経営者協会
京都府警察本部 捜査第四課親睦会	綾部防犯協会	社会福祉法人井手町社会福祉協議会	四条繁栄会商店街振興組合
京都府警友会	官津防犯協会	社会福祉法人宇治田原町社会福祉協議会	一社 京都府指定自動車教習所協会
京都府警友会 八幡支部	綴喜防犯協会	舞鶴東地区更生保護女性会	東山区シニアクラブ
京都府警友会 西京支部	下鴨暴力追放協議会	舞鶴西地区更生保護女性会	東山料理飲食業組合
京都府警友会 北支部	上京地域暴力対策協議会	綴喜郡民生児童委員協議会	株式会社京都科学
京都府警友会 中京支部	全舞鶴交通安全協会	京田辺市民生児童委員協議会	株式会社 ハヤシ不動産
京都府警友会 綾部支部	下鴨交通安全協会	京都精神保健福祉士協会	京都ミレニアムライオンズクラブ
京都府上京警察署 上京会	綾部交通安全協会	山科区保護司会	京都薫風ライオンズクラブ
京都府京丹後警察署	福知山交通安全協会	相楽保護区保護士会	
京都府福知山警察署互助会	右京交通安全協会		
舞鶴防犯協会	亀岡交通安全協会		
福知山防犯協会	京都府北警察署SORA北会		

●寄附型自動販売機を設置いただいている皆様

(順不同・敬称略)

【被害者支援自動販売機】

大森神社奉賛会	株式会社奥村組	オムロン株式会社	オムロンヘルスケア株式会社
株式会社霞月	カラオケ WOOPY	月桂冠株式会社	株式会社 GS ユアサ ソシエ
株式会社島津製作所	宝酒造株式会社	ニチコン株式会社	株式会社日進製作所
日新電機株式会社	北都開発株式会社	株式会社村田製作所	ユニチカ株式会社
吉忠株式会社	吉村建設工業株式会社	若林設備工業株式会社	ワコール株式会社

【交通安全ラッピング自動販売機】

三洋化成工業株式会社	ユニチカスパークライト株式会社	株式会社ファーストフーズ	ワタキューセイモア株式会社
株式会社エフプロダクト	株式会社日本医学臨床検査研究所	帝産京都自動車労働組合	ナカライテスク株式会社
近建ビル管理株式会社	牛若商事株式会社	京都広域生コンクリート協同組合	学校法人京都府自動車学校
伏見稲荷大社	株式会社京都自動車会館		

※交通安全ラッピング自動販売機の一部が、京都犯罪被害者支援センターに寄附されています。

お願い

当センターは、大変厳しい財政状況となっており、今年度は970万円の赤字となる見込です。犯罪被害者支援活動を今後も継続していくために、賛助金・寄附金による収入増が必須の状況です。

新たに賛助会員となっただけの法人・団体・個人様を募集しております。＜法人賛助会員（一口3万円／年）団体個人賛助会員（一口3千円／年）＞

また寄附型自動販売機を設置いただける方（法人・団体・個人を問いません）を募集しております。寄附型自動販売機設置に費用はかかりません。

皆様のお知り合いでご紹介いただける方がいらっしゃいましたら、是非事務局にご連絡ください。（メール・電話どちらでも結構です）

ご紹介いただける方へのご説明（当センターの紹介・賛助会員加盟／寄附型自動販売機のしくみや設置等の説明）は事務局からいたします。結果、不調に終わってもかまいません。お気軽にご紹介ください。

皆様のご協力をお願いいたします。

ホームページもご覧ください <https://kvsc.kyoto.jp/>

発行者 公益社団法人
京都犯罪被害者支援センター
理事長 山下俊幸

事務局 TEL&FAX 075-415-3008
E-mail k7830@kvsc.kyoto.jp
印刷 株式会社ティ・プラス

お願い：ご住所等、お届け内容に変更のあった方は、お手数ですが事務局までご一報くださいますようお願いいたします。